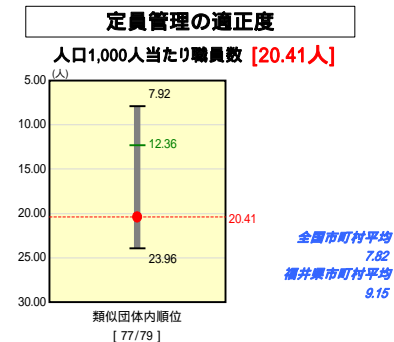
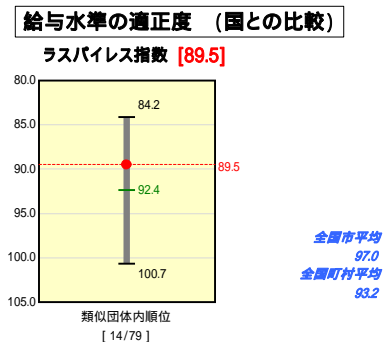
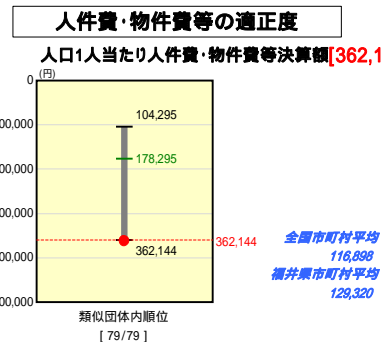
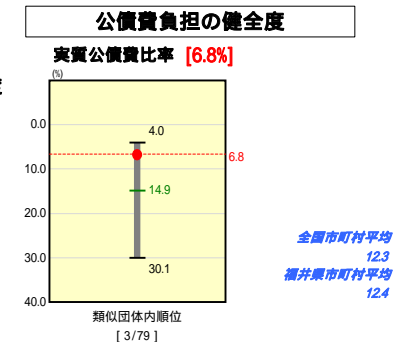
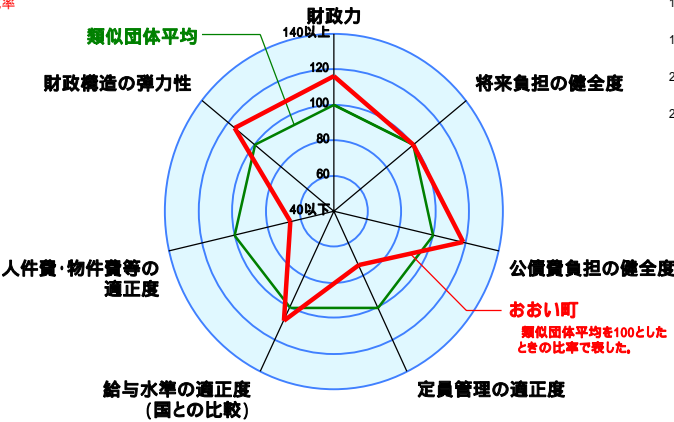
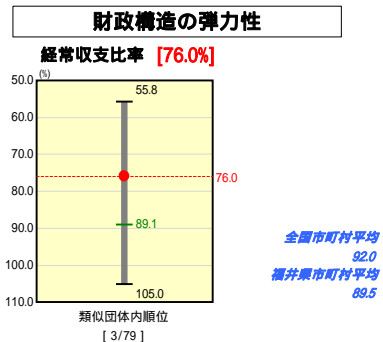
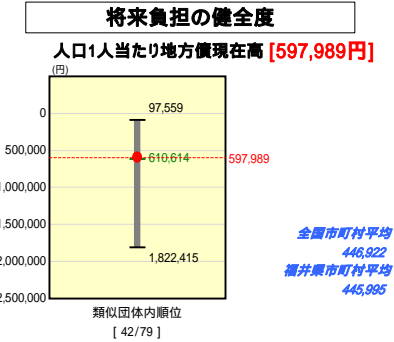
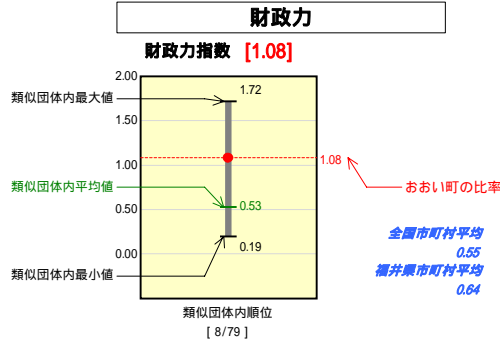


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福井県 おおい町

人口	8,968	人(H20.3.31現在)
面積	212.21	km ²
歳入総額	12,824,717	千円
歳出総額	11,868,483	千円
実質収支	595,097	千円



分析欄

平成18年3月3日に、旧大飯町と旧名田庄村の合併により、おおい町となった。

財政力指数
原子力発電所立地により類似団体平均を上回る税収があるため1.08となっているが、今後大規模償却資産に対する固定資産税が年々減少していくことから、歳出面においても、行政の効率化に取り組み財政基盤の強化を図っていく。

経常収支比率
原子力発電所立地町として健全財政を維持しているとはいえるものの、今後町税、普通交付税は年々減少が見込まれ、また、現在整備を進めているうみんびあ大飯、名田庄総合施設等により、維持管理経費がさらに増加すると予想されることから、経常収支比率が増加することが予測される。今後は、事務事業の取捨選択等の見直しを更に進め、経常経費の削減に努めていく。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体に比べ著しく高くなっているのは、主に物件費が要因であり、特に公共施設の維持管理業務委託料が大きなウエイトを占めている。また、人件費についても職員数が類似団体の数値を上回っているために引き上げの要因となっている。経常経費の削減と、適正な定員管理により経費の抑制に努める。

人口1人当たり地方債現在高
ほぼ類似団体の平均値となっている。今後とも後年度負担を十分に考慮し、新規発行においてはできる限り交付税措置等の有利な地方債のみとし、新規発行の抑制に努め適正水準の確保に努める。

実質公債費比率
起債の償還時期のピークを迎えたことにより6.8%と前年に比べ2.7%の増となったものの、依然として類似団体と比較しても低い数値となっている。今後とも起債に大きく頼ることなく有利な起債のみに絞るなど、極力新規発行の抑制に努めていく。

ラスパイレス指数
類似団体平均を2.9ポイント下回り、全国町村平均においては3.7ポイント下回っている。国家公務員の給与に準拠して、今後とも給与の適正化に努めていく。

人口1,000人当たり職員数
平成18年3月の市町村合併による職員増により、類似団体平均を大きく上回っている。今後は民間委託の推進、機構改革などにより職員数の削減に努め、集中改革プランの目標(平成22年4月1日の職員数196人)の達成を図る。その後は、平成27年4月1日の職員数170人の目標達成に向け、職員数の削減を進める。